



学校教育目標 <<本物の【あかぎの心】を育てよう>>

モッテコイ 諏訪小魂！

長崎市立諏訪小学校 校長 山崎 直人

明けましておめでとうございます

令和6年(2024年)が始まりました。

暖かで穏やかな元日の朝を迎えたところでしたが、突然の臨時ニュースに愕然としました。能登半島を襲った地震の発生です。

ようやくコロナ禍の制限なく年越しができたことを喜んでいただただけに、大きなショックを受けました。被害の状況が大きく、現地の方々の大変さを計り知ることはできませんが、被災地の復興と被害に遭われた皆さまが一日も早く安心な生活を取り戻されることを心から祈りたいと思います。

また、2日には羽田空港での飛行機事故のニュースが流れてきました。各ご家庭でも大きな衝撃をもって報道に見入っていたのではないのでしょうか。

いつ、どこで、何が起こるか分からないということを経験から思い知らされることになりました。

「昨日と同じような今日を迎えたからといって、今日と同じような明日が来るとは限らない」という言葉が現実のものとなって重みを感じる年始でした。

当たり前の日々の尊さをかみしめると共に、どんなことがあっても強く生きていくことをあらためて子供たちとも共有したいと考えています。

第3学期は、今年度の総まとめの学期です。4月から9か月間かけて身に付けてきた様々な力を、しっかりと定着させて、次年度へと引き継いでいく重要な期間となります。一日一日を大切に、実りある学期にしていきたいと考えています。

今学期も本校の教育活動へのご理解とご協力をどうぞお願いいたします。



第3学期の始業式で伝えたこと

年始のあいさつの後、全校児童と共に「能登半島地震」で犠牲になられた方へのご冥福と、被災して今なお大変な生活を余儀なくされている方々が一日も早く平穏な日々を取り戻されることを願って祈りの黙祷をしました。

第3学期のテーマは、

本物の【あかぎの足跡】を残そう！

としました。「あかぎの足跡」は3つの内容があることを伝えました。

あ:明るい子 **【友情の足跡】**

か:考える子 **【学びの足跡】**

ぎ:鍛える子 **【努力の足跡】**



クラスや学年の仲間と共に、しっかりと友情の足跡を実感してほしいと思います。特にあと3か月で卒業する6年生には、小学校最後の思い出をつくらせたいと思っています。

学びの足跡とは、その学年で身に付けるべき学習内容の定着はもちろんですが、発達段階に応じたものの考え方や態度も習得してほしいものです。

そして友情・学びの足跡を残すために重要なことが努力する力です。努力ができるというのは一つの才能です。それが夢へと近づく第一歩です。

その具体的な姿として、この方を紹介しました。



いただいたグローブを使って実感してほしいです。